

ひがしうしろばた

東 後 畑地区

山口県長門市（旧油谷町）

向津具半島の北に位置する東後畑地区は、半島部分の丘陵地が海岸近くまで迫っているため、眼下に日本海を望むことができる。夕日が沈む日本海に、イカ釣り漁船の漁り火が無数に輝く風景は、見るものを圧倒する美しさである。（平成 11 年に農林水産省の「日本の棚田百選」に選定、令和 4 年度に同省の「つなぐ棚田遺産」に認定）



山口県長門市



夏の棚田



夕暮れの棚田

〔景観の保全〕

日本海を望む棚田は、優美な景観をつくりだしており、特に 5 月～6 月の漁り火と水田の調和は、市内外の写真家にシャッターチャンスを与えている。

この景観を保全するため、中山間地域等直接支払交付金や多面的機能支払交付金といった事業を活用し、農林水産省のため池百選に認定された深田堤、他多くのため池や用排水路、農道等の維持管理を地域の共同活動によって行っている。また、学官の連携により、棚田の農作業支援や棚田を活用した地域振興策の提案など地域の活性化に取り組んでいる。

〔洪水防止、土砂崩壊防止、土壌侵食防止〕

本地区は地すべり防止指定区域に指定されており、水田の耕作等のもとより、ため池等の共同活動は、洪水防止、土砂崩壊防止等の国土保全や災害の未然防止に大きな役割を果たしている。



※漁り火が見られる時期
5 月下旬～8 月上旬頃



農林水産省のため池百選に認定された深田堤